

性とセクシャリティの
とりどり
に寄せて
にじいろBiwako

6. だれもがだれかのALL^{アライ}Yになれる

NPO法人にじいろBiwako 監事 ホールゆきな



私がゲイやレズビアンなどの言葉を初めて身近に感じたのは、大学生の時でした。大学のサークル行事へ向かうバスの中で、「にじいろBiwako」代表の橋本くんが自身がゲイだと打ち明けてくれたのを覚えています。それまではLGBTQ+の方たちの存在を知っていたものの、日常生活でそれについて考えることは全くなかったのでは、と思います。彼のカミングアウトをきっかけに、彼に話を聞いたり、記事や番組を見たりしてLGBTQ+について自分でも調べるようになりました。

友達と気軽に恋バナができない、好きな人と堂々と手を繋いで歩けない、法律的に結婚する選択

友人の「カミングアウト」をきっかけに

肢がないことは、学生時代から気兼ねなく恋バナを楽しみ、当たり前のように結婚し子どもを育てる未来を思い描いていた私にとっては衝撃的なことでした。

「居場所」という活動があることも、「にじいろBiwako」に関わってから知りました。今まで自分のセクシャリティを隠して生活したことのない私は、正直、居場所の必要性についてあまり理解していませんでした。

「にじいろBiwako」の居場所「にじびわべす」の第1回目でも、「ただ喋ったり遊んだりする場所に、来る人がいるのかな」と半信半疑でした。しかし、当日は沢山の方が参加してくださり、みんなが笑顔で楽しく過ごしているのを見て、「誰もが自分を偽らず、誰にも詮索されず、自由に安心して過ごせる場所」の必要性を感じました。

「にじびわべす」では、自由に過ごしていただく以外に個別相談も可能です。参加申込不要です。お気軽にお越しください。次回は8月25日、G-NETしがにて。



A ALLY(=アライ)とは、「協力者」や「味方」を意味する英単語から生まれた言葉。
L LGBTQ+の人たちを理解し、サポートすること。
L
Y
とは...

